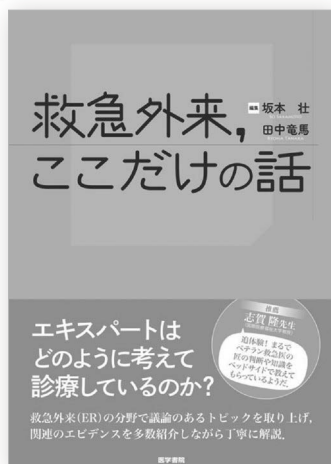




今月の特集関連本 ①



救急外来、ここだけの話

坂本 壮、田中竜馬＝編

定価 5,720 円／B5 判・480 頁／医学書院／2021

本特集をご企画の坂本壮先生 (p.1422・1482) 編集の1冊。救急外来 (ER) の分野で議論のあるトピックをとり上げ、「第一線の医師はどのように考えて診療しているのか (=ぶっちゃけ、どうしているのか)」を解説。関連するエビデンスを豊富に紹介しながら丁寧に論を進めていくスタイルで、救急医療が専門ではない若手医師も本書を読めば“controversial”な状況に強くなる！ 大好評の『集中治療、ここだけの話』(医学書院、2021)に続く、シリーズ第2作。



『総合診療』2021年12月号 (Vol.31 No.12)

“血が出た!” ときのリアル・アプローチ

そんな判断しちゃダメよ!

坂本 壮＝企画

定価 2,750 円／B5 判・144 頁／医学書院／2021

本特集をご企画の坂本壮先生 (p.1422・1482) 編集の本誌特集。ER で仕事をしていると、事故や転倒、転落などの外傷患者、吐血や下血、血便などの消化管出血患者、その他鼻血や喀血、血尿などなど、“血”を見ない日はありえない。「今何をやるべきか？」についての的確に判断し、あらゆる患者への対応を「It's a piece of cake!」と笑顔で対処できるよう、一流を目指すあなたに。



『総合診療』2021年9月号 (Vol.31 No.9)

「検査」のニューノーマル 2021

この検査はもう古い? あの新検査はやるべき?

高橋宏瑞、徳田安春＝企画

定価 2,750 円／B5 判・128 頁／医学書院／2021

本特集をご企画の高橋宏瑞先生 (p.1414・1478) 編集の本誌特集。

エビデンスは生々流転で変化。しかも加速している。「検査」のエビデンスも同様だ。そこで、日本の医療シーンに適應でき、現場でいつも議論になる検査項目を厳選し、常にエビデンスのアップデートを心がける若手医師が、その是非を問うた。その検査はもう古いかも! あの新検査はやるべきかも!